



私たちは重症心身障害児者のサポート団体です

<http://nakanodream.main.jp/>

〒164-0012 中野区本町 6-36-5-102

TEL03-6454-1230



今年もよろしくお祈りします



新春座談会 (職員にインタビューしてみました!)

司会: コロナ禍が続く中、いつもありがとうございます。なかのドリームでお仕事をしていてよかったなあ、と思うことは何ですか。具体的なエピソードがあれば教えてください。

なべ管理者: 小さかったお子さんが元気に育っていくのを見ることがやりがいです。7年前は、小さくて体重が標準よりも軽くて、お母さんがこの子は食べなくてと悩んでいたお子さんが、今や標準体重よりも大きくなったこと。寝返りを打てなかったお子さんが、寝返りを打てるようになって、いつの間にか、ちがうところに転がっていったり(笑)いっしょに成長を見守れるのがいいですね。

看護師: 私も、お子さんの成長を感じた時ですね。たとえば、医療的ケアがたくさんあって、いままで外にもあまり出たことがなかったお子さんが、おでんくらぶに来て、初めて親子で離れて過ごしたんです。そうしたら親子して自信がつき、学校にも通学できるようになった。その時はとてもうれしかったです。また、ずっと通ってきてくれていたお子さんが卒業し、もうおでんくらぶには通わなくなって寂しいのですが、巣立っていくときには、しっかりここで18歳まで成長を見てこられたという実感があって、やっつけてよかったなあと思います。

保育士: 私は発達支援の視点でのかわりが多いので、日々、お子さんの成長を感じています。初めての場所では、ごはんを食べない、人見知りをする、というお子さんでも、かわりの積み重ねで、しっかり食べたり、療育の活動に楽しく積極的に参加できたりする様子があると、そのお子さんなりの成長を感じて、やっつけてよかった、と思いますね。

おでん管理者: 放課後デイが地域に定着し、お子さんの居場所としてお子さん自身も認知し、楽しく通ってきてくれることがうれしいです。保護者の方からは、おでんくらぶから帰宅すると、楽しかったことがよくわかるんです、と言ってもらえて、やっつけてよかったなあと思います。楽しいのはいいのですが過度に何かをしてはしやぎすぎて疲れてしまうのはお子さんのためにならないと思っているので、翌日きちんと学校にいかれるように、でも楽しんで帰ってほしい、そんな思いで運営しています。

司会: コロナ禍が続く中、ケアの苦労や療育での影響はありますか。

なべ管理者: 時にはフェイスシールドをかぶっての介護なので、抱きかかえは怪我させないように一層気を使います。入浴はフェイスシールドやメガネが曇ってしまって特に難しいです。一年中ケアごとにアルコールで手指を消毒するので、手荒れがひどくなり治りません。アカギレに水ばんそうこを貼っていますが、気が付くとそれも取れて、手指が血だらけに(笑)なっていることがあります。

司会: 一日何件もご訪問する場合、ヘルパーさんは自分が感染源にならないよう、心配な時には防護衣を着たり、着替えを何回もしたりと気が張りますね。おでんくらぶではどうですか？

おでん管理者: おでんくらぶではおでかけ行事ができなくなって残念です。

保育士: 感染を防ぐために、同じもの、おもちゃなどを共有して使えない。ボールプールやエアートランポリンなどみんなで触れ合える遊びもできないですね。

看護師: 衛生面でもとても気を遣います。持ち込まない、持ち出さない、広げない、の3つを徹底して、研修も行っていきますが、お子さん同士距離を保っているため、手をつなぐとか、子ども同士のふれあいもできません。

おでん管理者: 生活の中でのおでんくらぶとして安心してご利用いただけるように、感染対策はもはや日常行為になっていますね。

司会: ありがとうございます。コロナが早く落ち着いてくれるとよいですが、感染予防の緊張が続きます。with コロナでどう療育をしていくか、模索は続けなければいけませんね。本日はありがとうございました。

司会：なかのドリーム相談支援管理者（佐藤）
参加者：訪問介護なべ管理者（松田）・
おでんくらぶ管理者（福満）・看護師・保育士



〈おぎゃー献金合奏団チャリティーコンサート〉

5月15日、サントリーホールにて、公益財団法人日母おぎゃー献金基金主催のコンサートにご招待いただきました。おぎゃー献金は、全国の産婦人科医が運営する障がい児支援のための基金です。おでんくらぶでは五年前に送迎車の寄付をいただきました。岡山や香川県などで活動する「おぎゃー献金合奏団」。ぜひ東京でもと、ドクターたちが努力し、念願のサントリーホールにおいて開催。日本一の素晴らしいホールで、動いても、吸引しても、人工呼吸器を使っても安心して楽しめる感動のひと時でした。ご招待ありがとうございました！



◆賛助金・ご寄付◆

みなさまからいただきました賛助金で、おでんくらぶで使う棚や、お子さん用のかわいい椅子とテーブルを購入いたしました。また、フルーツライフさまよりクリスマスケーキを、資生堂さまより東京善意銀行を通じてマスク用衛生用品をご寄付いただきました。



ありがとう
ございました



◆おでんくらぶ事業報告



*登録者数:29名(児童発達支援5名・放課後デイサービス24名)

12月現在【中野区18名 杉並区9名 渋谷区2名】

*月利用のべ人数と一日の平均利用人数、および利用率

7月	8月	9月	10月	11月	12月
79人	78人	85人	78人	74人	77人
3.9人	3.5人	4.2人	3.9人	3.7人	3.8人
78%	70%	84%	78%	74%	76%

(管理者:福満美穂子)

◆訪問介護なべ事業報告

利用者数:20名(うち介護保険利用者5名)

職員数:サービス提供責任者1名・ヘルパー16名(1月現在)

*サービス提供責任者(サ責)が1名のため、2月よりサ責の現場への派遣を縮小させていただきます。ヘルパー不足のためご迷惑をおかけして申し訳ありません。感染防止に充分気を付けてケアにあたってまいります。
(管理者 松田弥生)

◆賛助会費・寄付のお願い◆

賛助会費 1口 3,000円

寄付金 1,000円~

●賛助会費か寄付金かを明記下さい

①【ゆうちょ銀行から振込】

[口座記号・番号]

00190-3-420254

同封のお振込用紙をご利用下さい

②【他金融機関から振込】

ゆうちょ銀行

[店名・店番] 019(ゼロイチキューウ)

[種 目] 当座

[口座番号] 0420254

[口座名] 特定非営利活動法人

なかのドリーム

研修等:

2022/4-7月	相談支援専門員現任研修(松田・有馬)	2022/11/8	中野区人材育成研修
2022/8/26	中野区介護サービス事業所研修	2022/11/16・12/8	都高齢者虐待防止研修
2022/9/8	相談支援部会児童相談ワーキンググループ	2022/11/26	全国重症児者デイサービスネットワーク研修(経営)
2022/9/16	中野区ハラスメント研修	2022/12/12	サービス管理責任者研修
2022/9月	中野区介護サービス事業者集団指導	2022/12/15	相談支援部会児童相談ワーキンググループ
2022/9/20	訪問介護なべ医療的ケアガイドライン研修	2022/12/17	重デイネット研修(きょうだい支援)
2022/8-10月	医療的ケア児コーディネーター研修(佐藤)	2022/12/21	相談支援事例検討会
2022/10/11	中野区相談支援専門員勉強会		
2022/10/26・27	おでんくらぶ避難訓練(新渡戸学園前)		
2022/10/26	バス送迎安全対策について		

◆訪問介護なべ・おでんくらぶ職員募集中◆

info@nakanodream.main.jp 担当:佐藤